わっかない市議会だより

平成13年5月1日
第95号

議場に響きわたる
ロシア・アンサンブル
『カリーナ』のミニコンサート

発行　稚内市議会
編集　編集委員会
電話　23-6161番（代表）
内線 281

代表質問から

各会派を代表して6人の代表質問が行われました。主な質問と答弁を紹介します。

政友会 前田修悦議員

沖合底引漁業に対する緊急支援策と今後の対応について

質　問　現在の沖合底引漁業体制は、かけまわし操業8隻、オッター操業6隻であり、全盛期の4分の1以下の14隻体制で操業を続けている。しかし、沖合底引漁業を取り巻く経営環境は極めて厳しく行政として何らかの手だてを打つ必要があるが、❶沖合底引漁業に対する緊急支援対策は考えているか。❷今後、沖合底引漁業への対応についてどう考えているか。これらについて、市長の見解を伺う。

望まれる沖合底引漁業への支援策

答　弁　❶市としての緊急支援対策は、先行きが不透明な中で具体的な施策を示すことができない状況であり、現状打開に向けて稚内機船漁協と十分協議し有効な支援策を講じていく。❷多くの関連業界に影響を及ぼすことからも、沖合底引漁業が衰退していくことは食い止めなければならないと認識しており、本年制定予定の水産基本法に基づく施策や道の水産振興条例の再構築とも連携しながら、将来に資源を残せる新たな操業体制の構築やロシアとの相互利益を図るための対策等の総合的な支援策について、関係者とともに検討していく。

通年観光の再考について

質　問　本市の年間観光客80万人の約8割が夏期間に集中しているが、これは利尻・礼文の離島観光人気のおかげであり、現状では利・礼観光なくして最北観光は考えられなくなっている。しかし、冬期間の利・礼観光は多くの課題もあることは事実であり、行政として新たな食材の開発も含め宿泊関係の対策等を各自治体及びフェリー会社・バス会社・関係機関と早急に協議し、通年観光体制の確立に取り組む必要があると考えるが、市長の見解を伺う。

答　弁　市としては通年観光を目指した端境期対策の取り組みとして、冬季観光振興対策事業の継続と冬期間の広域観光ルートの設定が必要と認識しており、各自治体とも協議している。利尻・礼文については冬期間の観光客の受け入れ体制ができていないのが現状であり、フェリーの欠航も多く、その対応も課題となっている。しかし、広域観光ルートを設定する上で離島観光は欠かせないものであり、今後も各自治体及びフェリー会社等の関係業界とも協議を重ね冬季離島観光の早期実現を図っていく。また、各自治体や関係機関とより一層協力し、各地の地場産品の掘り起こしを行ない、季節ごとに地域独自の食材を提供できる体制も整えていきたい。

その他の質問事項

●教科書問題について

市政クラブ 河野至緒議員

産業の振興について（水産・酪農）

質　問　❶水産は、本市経済の要であるが、その地盤沈下には憂慮すべきものがある。沖合漁業もさる事ながら沿岸漁業についても前年比数量で5000トン、金額で26億円の減であったために、先行きに不安がある。今後行政としてより積極的な沿岸漁業振興策が必要と考えるが。❷宗谷畜産開発公社は昭和58年の設立以来、その経営環境は厳しく、市長は平成13年度中に存廃の結論をだすといっているが、私はあくまでも存続の方向で本市の畜産振興全体の中でどう在るべきかの議論が必要であると考える。今後の公社の経営見通しについてどう考えているか。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶沿岸漁業振興策については、オホーツク海沿岸に比べ日本海沿岸の振興策の効果が期待どおりに表れていないのが実状であるが、ニシン等の放流事業やタコ産卵礁等の漁場整備開発、さらに海洋深層水の活用など今後についても各関係者と十分協議しながら、積極的に振興対策に取り組んでいく。❷宗谷畜産開発公社の経営については、平成11年に中長期計画を策定し、経営コンサルタントの指導のもと、関係職員が経営改善に努力しており、市としても経営検討委員会を定期的に開催しながら協議している。同公社の最大の課題は8億円を超える牧場建設当時の公社負担金と生産規模拡大に要した借入金の償還金であるが、地域の産業を担う牧場であるので、経営改善によって存続していけるよう資金対策を含め検討している。

教育の諸問題について（学校教育・高校適性配置と看護専門学校）

質　問　❶各学校で2002年度から導入される「新学習指導要領」への移行状況は。❷公立高校適正配置に向け、今後北海道教育委員会に対してどのように臨むのか。❸准看護婦制度の改正に伴い、稚内高校看護専攻科が存続していけるのか。これらについて、教育長の見解を伺う。

答　弁　❶新学習指導要領への移行については、各学校長の責任のもとに準備が進められており、一部すでに実施されている。教育委員会としては学校の独自性を尊重し、教育研究所を中心とした「総合的な学習の時間」実施のサポート体制を整備し、各学校が新学習指導要領へ円滑に移行できるよう支援していく。❷市内2校の公立高校については、19年度までの見直しの中で各1間口ずつ削減される予定である。これに対応するため5月を目処に「稚内市における高等学校の在り方についての協議会」を設置し論議していく。❸准看護婦資格習得を目的とした稚内

高校の衛生看護科、更に看護専攻科の今後については、現在、北海道教育局で検討中であり、平成13年度中に決定される予定である。いずれにしても正看護婦の資格習得ができる学校の存続を念頭に、粘り強く交渉を進めていく。

その他の質問事項

- 行財政について
- 道路、港湾、空港の整備

公明党 越後谷 亮一 議員

多発する外国人の犯罪について

質問 年々増加するロシア船入港に伴い各種犯罪も増加してきている。特に船の係留場所に近い末広地域では仮設交番廃止後、また苦情が多く出てきている。今後、サハリンとの交流が本格的になるにつれ国際的犯罪も増えてくることが予想されることから、末広交番の早急な実現をはじめ、多発する外国人の凶悪犯罪についてどう対応していくのか。市長の見解を伺う。

答弁 末広交番については、市民生活の安全確保のため必要不可欠なものと認識しており、一日も早く実現されるよう引き続き要請行動を展開していく。また、外国人による犯罪対策については、助役を札幌ロシア総領事館に派遣して防犯措置要請を行なうとともに、稚内警察署へパトロール強化を働きかけている。今後については、国・道の関係機関に対してこれまで以上の安全対策の取り組みを要請していくとともに、稚内警察署が事務局となっている稚内地区国際安全対策連絡協議会と連携し外国船員に対する犯罪防止に努めていく。

望まれる末広地区の交番設置

映画ロケの誘致について

質問 映画ロケの誘致は観光の大きな資源であり、映画やテレビドラマのロケは映像による全国的な知名度の向上やロケ地域での経済効果等がある。このため北海道でもフィルム・コミッションの設置を進めており、全道各市町村にも取り組みを要請していることから、本市でも取り組むべきでないか。市長の見解を伺う。

答弁 本市では、以前より数々の映画及びテレビドラマ等のロケが行われており、昨年から今年にかけても多数ロケに訪れている。当然、映像資源を映画・テレビドラマ等の舞台として活用することは経済効果に加え、映像を通じた知名度向上やロケ地観光の増大など地域の活性化に向けて様々な効果が期待できると認識しているが、誘致の際、製作者側より求められるであろう地元負担や宿泊施設とのタイアップ要請を受けた時の財源問題等、検討していかなければならない問題も多くある。しかし、現在北海道が進めているフィルム・コミッション設立には積極的に協力するとともに、連携を密にし、ロケの誘致拡大に取り組んでいく。

その他の質問事項

- 産業振興について
- 稚内港の整備について
- ISO14001と9001の取得について
- 補助金の見直しについて
- 教育について

市民クラブ 山田 繁春 議員

ゴミ処理計画について

質問 本年4月から新聞・雑誌・ダンボール等の分別収集・再資源化が実施されることから、市のごみ処理基本計画について伺うが、❶市民の意識を喚起し運動参加を促すためのパンフレットの作成について。❷発泡スチロールのトレー、プラスチック類の処理について。❸新たなゴミステーションについて。❹過剰包装自粛等の取り組みについて。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁 ❶現在、各町内会に対し「ごみの話の出前」などを行ない内容等の説明を行なっているが、指摘のとおり早急にパンフレットを作成して市民に理解を図っていく。❷家庭から排出される廃プラスチック類の分別収集については、平成15年から予定しており、処理方法等を含め適切に処理していく。❸現状のステーション収集では今後の分別収集に対応していくのが困難と考えており、平成17年度の生ごみの分別を念頭に収集体制システムを検討していく。❹容器包装の減量やリサイクルを行なっている事業所の支援や、買物袋持参運動に支援するなど、排出抑制の取り組みに積極的に関わっていきたい。

市立病院の諸問題について

質問 私は公立病院が黒字経営をするのは、その与えられた条件や仕組みからほとんど不可能に近いと考えている。しかし、そう考えたとしても現状の市立病院の経営は危機的であると言わざるを得ないが、❶入院患者に対する服薬指導業務による収益効果は。❷民間の専門機関に経営診断を含めたコンサルティングを委託しては。❸医事課業務の外部委託について。❹国立療養所を分院の精神科病棟として利用する検討は。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁 ❶平成11年度は内科・眼科・外科・整形外科で服薬指導を行ない、件数で837件・延べ回数1147回、金額で410万円であった。12年度は13年1月末で1147件、延べ回数1885回、金額で660万円の収益となっている。❷昨年2月病院内に経営改善委員会を立ち上げ、病床利用率の向上等ある程度の成果を得たが、今後の課題解決に向けて収支だけに着目するのではなく地域貢献の為の基盤整備と診療サービスの改革、無駄の少ない体質づくりを中心として経営にあたり、平成13年度中に第三者機関の病院機能評価等を受けたいと考えている。❸平成13年度には待合室の拡張、オープンカウンター等環境整備を整え、医事課の外部委託についても他市の状況を十分検討していく。❹国は、3月末には廃止を含む対処方策を決定するとしているが、現実的には相応の猶予期間があると考え、市立病院分院としての活用も一つの選択肢として検討しており、今しばらく時間をいただきたい。

その他の質問事項
- 市長の市政執行方針について
- 図書館建設について
- 畜産公社について
- 情報公開条例について

民主クラブ 生田目 幸 男 議員

財政問題について

質　問　平成13年度の地方財政計画等を見る限り、地方財政も極めて厳しい状況に置かれているが、❶歳入の減少をどのようにカバーしていくか、その財源対策をどうするのか。❷平成12年度の国勢調査の結果を受け、人口の減少から、稚内市も過疎地域の指定を受けると聞いているが、具体的にはどうなるのか、どのように活用していくのか。❸各自治体が緊縮財政の方向にある中で、稚内市は予算を大幅に増額しているが、その基本的な考え方はどうなのか、14年度以降についてはどのように対処していくのか。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶国勢調査の結果、人口が減少し、交付税が減額している。その対策として、国が認める臨時財政対策債の発行をし、国・道の補助制度の活用、交付税措置のある地方債の充当、一部の事務・事業の次年度以降への繰り延べ、基金の繰り入れ措置などの対策を講じていく、今後は予算執行の段階で、無駄を省き、単なる予算消化にならないよう、効率的な執行を心掛けていく。❷過疎地域自立促進特別措置法の要件に本市が該当し、適用となる見込みだが、メリットは、一定事業の国庫負担割合の引き上げ、産業振興、交通通信、厚生、教育文化の各施設の整備に係る過疎債の充当等の特例措置があり、行政区域全体に適用することから平成13年度に計画を練り上げていきたい。❸今年度の予算編成は、将来に悔いを残さない投資が必要な時期と判断し、思い切った予算措置をとらせてもらった。来年度以降は綿密な事業執行計画を策定し、中長期的な財政見通しのもと計画的に取り進めていきたい。

旧一般廃棄物処分場跡地再生について

質　問　旧一般廃棄物処分場が閉鎖して12年が経過しているが、❶跡地はどんな状態にあるのか、また、管理はどうしているのか。❷広大な跡地は市民にとっても身近な位置にあると思うが、再利用計画をもっているのか、また、あるならば、その内容はどんなものなのか。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶現在、平成9年から開始した資源分別の進捗にあわせストックヤードやリサイクルセンターを建設している。安全策としては、リサイクルセンター前にゲートを設け、業務以外での出入りができないよう管理している。❷現在策定中の都市計画マスタープランで、市街地を取り囲むグリーンベルトが必要との観点から、補助造林事業による樹林帯の創設を検討している。しかし、地盤安定には20年から30年かかることもあり、土地の安定状況等を見極め、出来るだけ早い時期に実現を図っていく。

その他の質問事項
- 機構について
- 産業振興について
- 富士見地区宿泊施設について
- 高齢者福祉について
- 学校林について

日本共産党 斉 藤 信 義 議員

介護問題について

質　問　介護保険制度がスタートして1年を迎えようとしているが、❶市民や事業者から苦情等がなかったか、また、保険者である市長は介護保険制度の問題点について、どのように考えるか、国や道に改善点等の申し入れをしたことがあるか。❷稚内市でも低所得者の介護保険料の軽減策をとるべきでは。❸民間病院に併設している介護型ベッドを医療型ベッドに戻すと聞いているが、利用者の負担が増えると考えるが、市としての対応策は。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶介護保険に係る市民からの苦情、不服に対応するため、市民の方2名に介護保険相談調整委員をお願いし、平成12年4月8日から毎週土曜日、保健福祉センターにおいて相談窓口を開設している。これまで苦情、不服申立てに関する問合せは無く、制度全般に関し、13件の相談があった。また、事業者からの苦情はない。介護保険制度は改善するべきことが多々あるが、第一に低所得者の充実を図ることが必要と考える。しかし、厳しい財政状況の中で低所得者対策を実施するには限界があり、国としての抜本的な対策が必要と感じている。このことは、実現に向け国等に今後も働きかけていく。❷将来の介護保険財政の健全化を考えた場合、減免対象を拡大することは困難であると考える。❸利用対象者については、保険種別を変更しても大きな変化がなく、従来どおりの利用が可能なこと、また費用負担は、おむつ代等の実費負担は発生するものの基本額においては変化がないことから、大きな影響はないと考える。

国民健康保険税について

質　問　国保税が、介護保険制度の陰に隠れたようになっているが、加入者にとって納税の困難な状況は変わってない。❶国保加入者の介護保険料上乗せによる滞納の影響は、❷減免制度の規定の周知が不十分ではないか、併せて、借金があり保険税の支払い困難な人も減免制度に加えるべきでは。❸介護保険料が加算されたので、国保税の引き下げを検討すべきでは。

答　弁　❶本年1月末の収納率では、昨年同期を多少上回っており、今のところ大きな影響は出ていない。❷減免制度の周知は今後更に図っていきたい。また、負債を理由に減免をするのは、公平性の観点からも困難と考える。❸国保の財政状況から判断すると現時点での引き下げは困難と考える。

その他の質問事項
- 教育問題について

総括質問から

各会派の持ち時間の範囲で9人の委員から総括質問が行われました。質問の主なものを紹介します。

政友会

岡本雄輔委員

◇市長の折り返しにあたって

●議会の質問に対して行政は検討するとの答弁が多いが、その後の対応処理はどうなっているか

一、庁舎や教委分庁舎での国旗掲揚

二、庁舎ロビーでの友好都市の物産展示

●新年度に購入する環境に配慮した庁用車の車種は、又購入の目的や従来の類型車との費用比較は、更に市長公用車の変更は

●基地交付金が平成八年度以降ないがこの経緯は、更に市はどんな要望行動をとってきたかのか、又、これに変わる交付金等の要望は

●ロシア警備艇から銃撃された船が入港したが乗組員が行方不明、又突然の出港と、今回の犯罪絡みの件に港湾管理者としてどのような対応をとったのか

●米国艦船の入港に対しての市長の意見が先日新聞に掲載されていたが取材の時期や、方法についての説明を、又このことにより将来の国際化へ影響はしないか

●北地区でまちづくり委員会を立ち上げることで、今まで開発期成会で陳情していることはどうなるのか、又委員会はどうしても必要なのか

●北地区住宅地の道路幅員4M確保を都市計画で盛り込むことは

●福祉センターや社教センターの分館を町内会館として利用する考えや既存の老朽化した施設の整備をどのように

◇施設のあり方と図書館建設について

●施設管理等検討委員会での図書館建設の必要性の議論やこれまでの経過や問題等は

●先に図書館建設ありきではなく、既存施設の見直しを充分に検討した上で建設を考えたのか

市政クラブ

三宮正人委員

◇図書館建設について

●現図書館の後利用がはっきりとしていないが、北地区の再開発にも係わり、補助団体等の事務局としての利用は

●稚内に見合った図書館建設を要望し、活性化にも有効的活用を

◇事業委託について

●委託化推進の目的と効果は

●具体的な職員や予算の削減の見通しは、又個別の目標設定ではなく全体を市民に提示するように

◇経済振興と観光振興対策について

●中小企業の振興に対する貸付制度が不十分では

●水産加工業界に対する水道料金の減免を実施してからの、その後の対応や効果は

●以前の富岡地区のように大きな住宅建設計画は閉塞している経済に効果を与えると考えるが

●サハリン館の運営方法に問題は

●第一副港地区以外での観光振興策は

●サハリン館のような評価の低い事業はやめても良いという考えは

◇特養、老健及び宅老所について

●特養等への申込み待機者が多いと聞いているが数は、又グループホーム支援との料金格差は

●グループホームに個人負担の導入検討を

◇サハリン事務所の役割と東京事務所の必要性について

●サハリン事務所開設の目的は

●赤字経営が即、人員削減では後退的考えであって最初に営業力を伸ばすべきと考え、東京事務所を開設して観光や港湾等の営業強化するためのPRは

◇宗谷海峡を渡るトンネル、橋梁について

●市長が先頭に立って民間と協議し、サハリンとの間に架橋やトンネル構想を、夢の実現化を

公明党

館農恒一委員

◇市政執行方針について

●水産加工品の販路拡大のための物産店を八千代市や太田市で行った理由は

●ワプコのサハリンⅠ・Ⅱ事業に対する現状分析と今後の対策は

●第一副港開発で体験、滞在型観光を求めないと言ったが、市政執行方針との整合性は

●新図書館にお年寄りや視聴覚障害者等の専用スペース等の整備は

●ほたて貝殻を利用し、新産業の開発の考えや現状は

●市民が散策できるように街の中に緑や小さな自然をつくる考えは

●現在の参事職を市民やマスコミにPRできるスポークスマンとする検討を

◇稚内高等技術専門学院について

●老朽化した建物の再整備のその後の取組は

◇IT講習会について

●障害者や高齢者に対し積極的受講案内の促進を

鈴木茂行委員

◇外国人船員の犯罪、事故防止について

●今年度の犯罪件数と昨年度比、更にその後の対策は

●夜間の上陸禁止や、犯罪に係わった者や船舶の再入港の禁止は

●末広交番設置には署名や反響が多く早期実現を要望

◇融雪設備の助成について

●助成で設置した際には支払いを領収書で確認を

●将来的に障害者や高齢者への拡大無利子貸付の考えは

◇教育問題について

●小中学校での朝10分間の読書の実施に対するその後の取組は

●学校での洋式トイレ設置の有無は、総点検して計画を以て整備を

◇市営住宅について

●入居待機者がいる現状から民間から住宅借上げての供給は

市民クラブ

藤谷良幸委員

◇職員研修、意識改革について

●研修のテーマや課題は職員課で決めるのか、理事者との協議や、庁議での議論は

●意識改革は職員個々のやる気を待つだけではなく、引き出すための手法も考えるべき

●研究材料として、管理職を含め自己採点評価制の導入を提案、全庁的な判断を、そして市民へ役所の変化を示しては

◇冬季観光対策事業について

●東京直行便の搭乗率確保に様々な助成策を講じてきたが、3年間

の内容をどう活かすのか（含むサハリン村、サハリン館）
●実行委員会は民間主導の自主的運営を、市は指導調整を行い、事務局は観光協会におくべき
●ツアー客の誘致にエージェントの必要性は理解するが、依存からの脱却を
●個人客の増加傾向は前から予想されていたが、行政には報告があったのか
●カニ提供から変わった助成策は三通りから選べることができるが、その内訳は
●サハリン館のレストラン利用では市民やフリー客へ不公平感があったが
●第一副港周辺整備をサハリン館を中心にしてとの意向であるが、実施の議論と、長期的な展望は

◇都市計画マスタープランについて

●北海道の策定するマスタープランと市の計画の整合性は、又計画策定までのスケジュールは
●答申が9月になるようだが、この間まちづくりや提言委員会、ワークショップ会議の開催は
●三地区で設立されたまちづくり委員会との関連や意見が出された場合にどう扱うのか

民主クラブ

松本勝利委員

◇図書館問題について

●建設にあたっては市民の意見を

日本共産党

三谷典子委員

◇高齢者保健福祉・医療と介護保険について

●70歳以上の一割負担が患者に及ぼす影響はどうなのか
●高齢者の受診抑制による症状の悪化は考えられないか
●管外へ転院しなくても適正な医療や介護を地元センター病院で受けれるように
●国保の資格証明書を交付しないもう少し聞くべきだったのでは
●財政状況が厳しい折り、何故この時期に建設するのかという意見にはどう考えるか
●市長は都市機能未整備が人の流出に繋がっているとしての図書館建設と言っているが、経済基盤整備が核ではないのか

◇介護保険問題について

●社会福祉事業団の運営に関する努力は認めるが、経費節減のためサービス低下や人員削減への影響が懸念されるが
●事業団経営の見通し、あり方でサービスの提供による収入が不足した場合の赤字補填は

◇まちづくり委員会について

●町内会連絡協議会との間で設立の了承を得ているのか、既存の町内会組織で活動できないのか

◇病院問題について

●公立病院の必要性や理念をどの場合は悪質滞納等個々の事情を判断すべきで、画一的な扱いをしてはいけない
●コンピューターによる第一次認定には問題が多く、調査員や医師の役割が重要と思う。第二次判定での上方、下方修正認定の割合は
●要介護者の実体調査は行ったのか、その結果の概要は
●介護保険事業計画での痴呆対策に対しての見直し計画は
●ホームヘルパーの置かれている労働状況の認識はようにに考えているか
●付添人を必要とする実態から何故の完全看護なのか
●看護婦中心の募集だが、准看護婦はどうか

◇観光問題について

●観光客のリピートを期待するならば苦情や意見を取入れる体制を

◇リサイクル問題及び環境問題について

●大型ごみ有料化に伴い、不法投棄が考えられるが、監視体制は

長谷川喜市委員

◇教育問題について

●昨年行った市立学校管理規則の改正主旨は、又、その際に国民の祝日に関する法律をどのように捉えたのか
●国民の祝日を振り替えて三連休とした学校はあるか
●届出書を出さず校長の独自判断で振り替えたケースは
●ヘルパーの報酬単価が低く、介護の切捨てにならないか、又生活が成り立たないので身分補償を
●ホームヘルパーに対する市の独自政策は
●ホームヘルパーに対して遠隔地への交通費を15%加算しては
●福祉事業団の赤字補填を一般財源を導入して対処するのか

◇子どもたちをとりまく生活環境について

●タバコ販売（自動販売機）のあり方、見直しは
●サッカーくじを19歳以下の青少年に購入させないよう販売店に対して行政指導の徹底を
●学校統合により開校する天北小中学校のスクールバスを地域住民の生活路線として利用できないか

◇男女平等参画基本計画について

●市は今後どのような計画を

市民改革ネット

東方豊松委員

◇市役所づくりと職員研修、文化活動について

●職員研修の考え方と評価、効果についてはどのように
●地方分権、情報公開、守秘義務等の市民ニーズへどのような対応をとるのか
●やる気をおこさせる公平感や、研修をとおして見方の改革、能力を発揮させるために受講職員の選考基準や種類の説明を透明に
●研修は上意下達でなく、申し出制等職員が希望を持てるように
●自主研修費が減額になっているが積極的な職員に対しては補助を
●福祉センターで行われたまちづくりの講演等には職員も積極的に参加するように、又これらに係わる生涯学習の取組みと成果は
●特別研修の土曜講座の成果は
●永年勤続優良職員表彰とは別に優秀な職員を評価するシステムの検討は

◇自然環境保護の資源と観光振興について

●坂の下から抜海港にかけての海岸線を自然体験型の観光資源として、又国立公園区域内の砂丘等の自然や景観を保護する考えは
●冬の観光エコツアーの内容は

◇図書館事業と新図書館運営策について

●図書館建設は市民も期待しているが、北星学園大学の学生募集に対してのアピールをどのように

貴重な自然環境
坂の下海岸砂丘から抜海港

各特別委員会から

3月定例会に提案された各会計補正予算・新年度予算・条例案・単行議案は、各特別委員会においてそれぞれ審査を行いました。主な質疑の内容を紹介します。

予算特別委員会（補正予算）

◇一般会計

●一般廃棄物処理施設基本計画策定等委託が当初の基本構想から変わったことの説明と調査項目を一部修正したことで計画の遅れ等の支障にならないか

●今冬のロードヒーティングの効果・効用は

●学校給食調理人賃金を減額したことは給食数が減った関係からか

●国際文化交流事業の内容と今年交流ができなった理由は

●各種補助金がなぜこの時期に減額できるのか、精算の基準や交付方法は、更に事業変更によっては返還もあるのか

●特養老人ホームの管理運営等の委託料を大幅に減額しているが、来年も同様の支出見込みか

◇病院事業会計

●材料費支出が昨年より増えているが説明を

●入院未収金が増えているが、患者に対するケアや医療相談の充実、改善等で対応し解消を

●経費節減は大事だが、必要なものは措置すべきで特に環境整備面への投資を

議案特別委員会（新年度予算）

◇一般会計

●納税貯蓄組合への補助で、事業内容の説明と、目的や意義がなくなったならば廃止判断を早期に

●地元紙以外の広告の整理を、又TVの市民ニュースの効果や内容を検討し全体見直しを

●風力発電を拡大させるために、市民運動としての取組を行政側からも積極的に

●まちづくり委員会については、既存の町内会や協議会の役割があるなかで組織化が拙速すぎだ

●今年度は宗谷パレス改築期成会の活動経費計上がないが必要性は、又民間の宿泊施設建設計画は

●市の乳幼児医療費助成方針が定っていない中での予算計上は問題があり、今回条例改正を取下げ、予算を修正し、明年四月に向け対象年齢の引き上げ、所得制限の方法を検討しては

●緊急通報装置給付事業を郊外区の一人世帯を対象とする考えは又、孤独死が起きないような地域のシステムづくりを行政がすべきでは

●はまなす学園グループホームに係わり、はまなす地区をノーマライゼーション地区とする際には、近隣地区や緑ケ丘学園とも協議を

●古紙分別の市民への説明で、趣旨が伝わっているか、又周知期間が短く細かな問題もあるので更に質問や意見を受けることも必要

●優良牝牛導入資金の貸付制度が当時と状況は変わっているので見直しを、又農協を窓口には

●日ロ合弁事業の補助金を今年は計上していないが、理由と今後の展開や可能性は

●水産公社貸付金額は例年どおりか、又その目的、最近の製品開発状況やテーマ、研究目標の説明を

●観光端境期対策のシャトルバス利用見込み人数の算出根拠は

●観光客動態調査は前向きな施策と思うがどう活かすのか、更に他の補助金を精査見直し新振興基本計画の策定を

●歩道用の除雪機械が不足では

●はまなす線道路工事で、はまなす地区住民へ必要性も含めて説明不足と思われるが、又緑地区への接続をどのように考えているか

〈図書館建設関係〉

●建設迄にもう少し時間をかけ、市民の意見を聞くべきだ

●基本設計や実施設計の委託料を当初計上するのは、基本計画も決まっていないのに無理がある

●市長の考えが市民に理解されていないのでは、又今回の広報紙への掲載方法は先入観を与え誤解を招きやすい

●情報技術講習会の目標を、大筋を変えず、初心者中心や興味あるメニューに変更できるか

〈緊急雇用対策事業の学校派遣講師関係〉

●事業内容と、臨床心理士とスクールカウンセラーの業務の説明を

●不登校対策専任指導の内容と指導員の前職は、又指導を元教師がすることでの問題はないか

●文化協会の予算に名士カラオケ大会からの収入があり、予算の編成や経理に行政指導を、更に事業総予算からみても市からの補助金が多すぎ、大幅減額での見直しを

●科学館と水族館を共用できる料金設定のその後の検討は

◇国民健康保険事業特別会計

●高額療養費の支払い件数と制度の周知を

◇介護保険事業特別会計

●ケアマネージャー業務の現状認識と業務が在宅支援と兼務重複しているので単独にできないか

●ケアマネージャーのアンケート結果で居宅介護支援サービスの報酬改善、低所得者の負担軽減等の要望があるが

◇病院事業会計

●検査部門の委託は地元を入れて競争入札したのか、その効果は

●看護職員が新たに採用になるが充足になる訳ではない、現場の状況を把握し准看護婦を含め早急に補充を

●看護婦でなくてもできる業務の隙間を埋めるためにも看護助手を緊急に配置するように

●薬剤、材料を入札制にすると相当の支出削減になると思うができないか

●重症患者が転医の際に救急車を使えるように検討を

採択された請願及び要望意見書

▽地域医療支援機構の創設に関する請願及び要望意見書

▽仕事と家庭の両立施策の拡充を求める請願及び育児・介護休業法の拡充と保育施策の拡充を求める要望意見書

▽小中学校教科書採択に関する請願及び要望意見書

▽教科書検定に関する請願及び要望意見書

▽緊急地域雇用特別交付金継続と改善に関する陳情及び要望意見書

▽13年度税制改正に関する要望

▽特別間伐材事業の創設を求める要望意見書

▽高齢者及び障害者の雇用促進を求める要望意見書

▽宗谷支庁の存続と機能強化を求める決議

本会議と各委員会の出欠状況

区分／議員名	出すべき日数（本会議・各委員会）	出席日数	欠席日数	区分／議員名	出すべき日数（本会議・各委員会）	出席日数	欠席日数
石塚　公次	14	10	4（私）	中井淳之助	24	21	3（私）
岡本　雄輔	14	14		藤谷　良幸	14	14	
小林侃四郎	13	13		山田　繁春	13	13	
田森　和文	24	21	3（私）	生田目幸男	24	23	1（私）
前田　修悦	23	23		長谷川喜市	14	14	
河合　慎一	16	15	1（公）	松本　勝利	13	12	1（私）
河野　至緒	13	13		斉藤　信義	14	14	
菅原　清治	14	13	1（私）	三谷　典子	24	24	
竹村　海一	15	14	1（私）	魚住　光信	24	24	
三宮　正人	24	24		東方　豊松	24	24	
越後谷亮一	24	19	5（私）				
鈴木　茂行	14	14					
館農　恒一	23	23					

注：⑴出席すべき日数は、２月１日から４月30日までの状況。
⑵欠席日数欄中（公）は公用、（私）は私用、（病）は病気の意味。

議会日誌

２月

6・**第1回臨時会（本会議）**
8・全国市議会議長会基地協議会総会（仙台市）
15・**総務常任委員会**
19・**民生文教常任委員会**
20・**建設産業常任委員会**・深川市議会議員来局
22・**議会運営委員会**・各会派代表者会議
28・**第2回定例会（本会議・ナイター）**・**議会運営委員会**・予算特別委員会

３月

5・**本会議（一般質問・ナイター）**・**議会運営委員会**
6・**本会議（一般質問・ナイター）**・**議会運営委員会**
9・議案特別委員会・**議会運営委員会**
12・議案特別委員会・議会だより編集委員会
13・議案特別委員会・**議会運営委員会**
14・議案特別委員会・**議会運営委員会**
15・議案特別委員会
16・**本会議**

４月

10・北海道市議会議長会道北支部議長会（稚内市）
12・**議会運営委員会**・各会派代表者会議・各会派幹事長会議
17・帯広市議会委員来局
18・東北支部議長会（秋田市）
20・**議会運営委員会**・各会派幹事長会議・大東市議会議員来局
23・**建設産業常任委員会**
24・**民生文教常任委員会**
25・**第3回臨時会（本会議）**
26・北海道市議会長会定期総会（網走市）・議会だより編集委員会

６月定例会の日程

6月13日　**本会議**
・一般行政報告
・予算・条例・単行議案の上程
14日～17日　**休会**
18日～19日　**本会議**
・一般質問
20日　**議案特別委員会**
22日　**本会議**

本会議は5階議場で、議案特別委員会は5階正庁の間で開きます。

編集後記

近年になく、寒く雪が多かった冬でしたが、3月に入ってからは春うららかな季節になりました。

今、市民の皆様は、快適で健康的な毎日をお過ごしのことと思います。

3月定例議会も、平成13年度の予算執行に対する代表質問・総括質問・特別委員会での新年度市政について、市理事者、私たち各議員共に意欲的に取り組みました。

最終日には、本会議開会前の時間を活用した、議場コンサートを企画、ロシア・アンサンブル演奏を議場満席の中、参加されました市民皆様と共に親しませていただきました。

これからも、親しまれる議会運営、市議会だより発行に努力してまいります。

市民皆様からのご要望ご意見をいただければと思います。

編集委員一同

議会を傍聴しませんか

☆手続きは簡単です☆

◆お問い合せは
議会事務局
（☎23－6161・内線281）まで